

貸借対照表

(2025年3月31日現在)

ハウスギャバン株式会社

(単位：千円)

科 目	金 額	科 目	金 額
(資 産 の 部)		(負 債 の 部)	
流動資産	12,884,773	流動負債	4,623,722
現金及び預金	2,558,960	買掛金	2,899,145
受取手形	1,668	リース負債	-
売掛金	4,831,723	未払金	1,003,305
商品及び製品	4,333,483	未払費用	185,891
原材料	1,137,891	未払法人税等	282,010
前払費用	14,614	前受金	-
未収還付法人税等	-	未払消費税	81,570
未収消費税	-	預り金	6,726
為替予約	-	賞与引当金	159,203
その他の金	7,557	その他	5,869
貸倒引当金	▲1,128		
固定資産	7,854,718	固定負債	6,793,356
有形固定資産	7,069,863	長期借入金	6,500,000
建物	1,351,292	退職給付引当金	76,969
構築物	39,872	リース負債	387
機械装置	244,474	資産除去債務	216,000
車両運搬具	9,606	その他	-
工具器具備品	222,563	負債合計	11,417,078
建設仮勘定	4,451,132	(純 資 産 の 部)	
リース資産	270	株主資本	9,291,554
土地	750,651	資本金	490,000
無形固定資産	329,620	資本剰余金	5,541,086
ソフトウェア	320,501	資本準備金	2,748,673
ソフトウェア仮勘定	6,232	その他資本剰余金	2,792,413
電話加入権	2,886	利益剰余金	3,260,467
投資その他の資産	455,234	利益準備金	103,369
投資有価証券	79,906	その他利益剰余金	3,157,098
関係会社株式	1,214	自己株式	-
繰延税金資産	155,638	評価・換算差額等	30,859
差入保証金	214,727	その他有価証券評価差額金	30,859
その他	3,747	繰延ヘッジ損益	-
		純資産合計	9,322,413
資産合計	20,739,491	負債純資産合計	20,739,491

(注) 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

個別注記表

ハウスギャバン株式会社

I. 重要な会計方針に係る事項に関する注記

1. 資産の評価基準及び評価方法

(1) 有価証券

- ① 子会社 …………… 移動平均法による原価法
- ② その他有価証券
 - ・ 時価のあるもの …………… 決算日の市場価格等に基づく時価法
(評価差額は全部純資産直入法により処理し、
売却原価は移動平均法により算定)
 - ・ 時価のないもの …………… 移動平均法による原価法

(2) デリバティブ …………… 時価法

(3) たな卸資産

- ① 商品、製品、原材料 …………… 移動平均法による原価法
(貸借対照表価額は収益性の低下による
簿価切下げの方法により算定)

2. 固定資産の減価償却の方法

(1) 有形固定資産(リース資産を除く) …………… 定額法

なお、主な耐用年数は、以下のとおりであります。

- 建物 10～42年
- 機械及び装置 6～8年

(2) 無形固定資産(リース資産を除く) …………… 定額法

但し、ソフトウェアについては、社内における利用可能期間(5年)に基づく定額法を採用しております。

(3) リース資産

リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法を採用しております。

3. 引当金の計上基準

(1) 貸倒引当金

債権の貸倒による損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権など特定の債権については個別に回収可能性を勘案し、回収不能見込額を計上しております。

(2) 賞与引当金

従業員に対する賞与の支給に備えるため、将来の支給見込額のうち、当事業年度負担額を計上しております。

(3) 退職給付引当金

従業員の退職給付に備えるため、当事業年度末における退職給付債務および年金資産の見込額に基づき、当事業年度末において発生していると認められる額を計上しております。
また、数理計算上の差異は、その発生時の従業員の平均残存勤務期間以内の一定の年数(5年)による定額法により、発生の翌事業年度から費用処理しております。

4. 収益及び費用の計上基準

当社は食品の製造・販売を主な事業とし、製品又は商品(以下、製品等)の販売に係る収益は、主に製造又は卸売りによる販売であり、顧客との販売契約に基づいて製品等を引き渡す履行義務を負っております。
当該履行義務は、製品等を引き渡す一時点において、顧客が当該製品等に対する支配を獲得して充足されると判断し、引渡時点で収益を認識しております。なお、収益は顧客との契約において約束された対価から、リベート、返品等を控除した金額で測定しております。

個別注記表

ハウスギャバン株式会社

5. その他計算書類の作成のための基本となる重要な事項

(1) 重要なヘッジ会計の方法

- ① ヘッジ会計の方法 繰延ヘッジ処理によっております。
- ② ヘッジ手段とヘッジ対象
 - ・ヘッジ手段 為替予約取引
 - ・ヘッジ対象 外貨建て予定輸入取引
- ③ ヘッジ方針
外貨建て予定輸入取引の為替変動リスクをヘッジするため、為替予約取引等を行うものとしており、リスクヘッジを目的としないデリバティブ取引は行わない方針です。
- ④ ヘッジ有効性評価の方法
為替予約取引については、取引時に重要な条件の同一性を確認しているため、有効性の評価を省略しております。

(2) 外貨建の資産及び負債の本邦通貨への換算基準

外貨建金銭債権債務は、決算日の直物為替相場により円貨に換算し、換算差額は損益として処理しております。

Ⅱ. 当期純利益金額 699,199 千円